

ミニトマトの露地疎植栽培に適した誘引法（追補）

【1 成果の要約】

ミニトマト品種「ロッソナポリタン」を用いた疎植で粗放的な露地栽培（通称：ソバージュ栽培）では、新たに開発した誘引法「直立ネット誘引」にすることで収穫作業が改善され、作業効率は同等以上になります。

【2 成果の内容】

- 「直立ネット誘引」では慣行の「アーチネット誘引」と比較して負担の少ない収穫姿勢となります（表1）。
- 収穫作業時間は、収穫期間前半では「直立ネット誘引」が慣行の「アーチネット誘引」よりも短くなりますが、収穫期間の後半になるとほぼ同等となります（表2）。

表1 収穫作業における労働負担別の作業姿勢割合（%）（OWAS法）

負担別カテゴリ	AC1	AC2	AC3
カテゴリの内容	リスクは極めて低い。改善は不要。	リスクは低いが近いうちに改善が必要。	リスクは高く早急に改善すべき。
直立ネット誘引	83.3	4.2	12.5
(慣行)アーチネット誘引	50.0	36.4	13.6

代表的な
作業姿勢



※品種：ロッソナポリタン（n=3） AC4はともに該当無し

表2 誘引方法の違いによる収穫作業時間

	1kgあたり収穫時間 (分秒/kg)	
	8月4日	9月1日
直立ネット誘引	4:01	8:31
(慣行)アーチネット誘引	5:22	8:21
直立ネット誘引/アーチネット誘引(%)	75	102

【3 留意事項】

- (1) 両誘引法ともソバージュ栽培の仕立法に準じて栽培しています。また、定植は5月下旬、10aあたり窒素施用量は基肥25.5kg、追肥2.8kgとしています。
- (2) 栽培にかかる留意事項は平成26年度年度試験成果の留意事項を参照してください。
- (3) ソバージュ栽培については、下記ホームページをご覧ください。
http://p-e-s.co.jp/sicilian-rouge/pdf/Sicilian_Rouge_sauvage_cropping_manual.pdf
- (4) 「ソバージュ栽培」はパイオニアエコサイエンス(株)の登録商標です。

担当研究室 技術部 野菜花き研究室

〒024-0003 北上市成田20-1

TEL. 0197-68-4420 FAX. 0197-71-1083